

記者発表（資料配布）

月/日	担当課（室）係名	TEL（代表）	発表者名	資料配布先
10/5（金） 14:00	県立人と自然の博物館 生涯学習課	079 (559) 2001	部長 石田弘明 (課長 小山恵介)	県教委記者クラブ 三田市政記者クラブ

収蔵資料スペシャル企画「標本のミカタ～コレクションから新しい発見を生み出す～」

第5回「アンモナイト大集合」の開催について

1 主旨

県立人と自然の博物館には160万点を超える資料が収蔵されています。今年度から標本資料をふんだんに使い、その面白さや標本を用いた自然の読み解き方を解説するスペシャル企画「標本のミカタ～コレクションから新しい発見を生み出す～」を、毎月第2日曜日（平成31年1月を除く）に開催していきます。

第5回目は「アンモナイト大集合」と題して、当館収蔵のアンモナイト化石を展示し、その魅力を紹介します。関連イベントとして、ギャラリートーク「クイズで知ろう！ アンモナイトの秘密」および「淡路島で見つかるアンモナイト」やオープンセミナー「アンモナイト石けんをつくろう！」も実施します。貴重な資料や触れる標本を通して、太古の海に多様なアンモナイトが生息していたことを実感していただければと思います。

2 実施概要

- (1) 日 時 : 平成30年10月14日（日） 13:00～16:30
- (2) 場 所 : 兵庫県立人と自然の博物館 4階大セミナー室、ひとはくサロン
- (3) 展 示 物 : アンモナイトやベレムナイト、オルソセラスなどの頭足類の化石標本 約100点
(直径約 70 cm の大型アンモナイト、美しい虹色の殻をもつアンモナイト、変わった巻き方の「異常巻アンモナイト」、淡路島で採取された白亜紀のアンモナイトを含む)

3 関連イベント

- (1) ギャラリートーク「クイズで知ろう！ アンモナイトの秘密」（生野賢司 研究員）
13:00～13:30、場所：4階大セミナー室
知る人ぞ知るアンモナイトの秘密や、様々な標本の見どころを、クイズを交えて解説します。
- (2) ギャラリートーク「淡路島で見つかるアンモナイト」（岸本眞五 兵庫古生物研究会 代表）
13:30～14:00、場所：4階大セミナー室
長年にわたり集めてきた標本を紹介しながら、アンモナイト化石の魅力について語ります。
- (3) オープンセミナー「アンモナイト石けんをつくろう！」（佐藤裕司 研究員）
①13:00、②13:30、③14:00、④14:30 （各回先着定員 15 名）
場所：ひとはくサロン オープンラボ、参加費：300 円
アンモナイトの型に石けんを流し込み、レプリカを作ります。完成までに約 30 分かかります。

4 担当

兵庫県立人と自然の博物館 研究員 生野賢司・佐藤裕司

5 展示資料（予定）



世界各地から採取されたアンモナイト化石の標本

収蔵資料スペシャル企画

「標本のミカタ～コレクションから新しい発見を生み出す～」の開催について

1 主旨

兵庫県立人と自然の博物館には、開館以来25年をかけて収集した160万点近くの昆虫や動植物、岩石・化石などの自然史系の標本や古写真などの資料が収蔵されています。これらの標本には、タイプ標本と呼ばれる新種として登録するための唯一無二の基準標本をはじめとする学術的な新発見の基盤となった標本、生物の過去の分布状況を証明するための標本、絶滅危惧種の分布状況の証拠となる標本など貴重なものが含まれています。また、良く似た種類を比較分類するためのセットとしてや、生物の形状の美しさ・面白さを伝える展示物として、様々な場面で収蔵標本が活用されています。しかし、博物館の収蔵標本のすべてを館内に展示することは物理的にも保存面でも難しいため、現状ではその多くが収蔵庫に保管されています。標本資料の収蔵は博物館機能の核心部分にも関わらず、この様相は気楽に見学してもらうことができませんでした。

そこで今年度から、普段は見るできない収蔵資料をテーマにもとづいて蔵出しする日を定め、収蔵資料から進化や自然、地球の成り立ち、まちの景観形成などについて読み解き方を解説するオープンセミナー「標本のミカタ」を始めます。毎月第2日曜日に開催し、テーマをちがえて全8回を予定しています。普段は、展示室でガラス越しにしか見ることができない標本を、この企画では、実物を直接見られる状態で数多く陳列し、顕微鏡などの実験道具を使って、研究員が解説いたします。専門的な内容も含めつつ、見学される方に合わせて丁寧に解説いたします。関連のイベント・解説も同時に開催することで、標本が存在する意義を多様な観点からわかりやすく発信します。

- (1) 実施回数 : 全8回
- (2) 日時 : 平成30年6月～12月の第2日曜日と平成31年2月11日(月・祝) 13:00～16:30
- (3) 場所 : 兵庫県立人と自然の博物館 4階ひとくサロン等
- (4) 申し込み : 不要
- (5) 参加費 : 無料(ただし観覧料は必要)
- (6) 対象 : 対象は広く一般とします
- (7) 担当 : 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員 三橋弘宗
兵庫県立人と自然の博物館 研究員 福本優
- (8) 各回のテーマ :
 - 第1回 6月10日 「イネ科標本の世界」 (高野温子)
 - 第2回 7月8日 「海の無脊椎動物たち ～イカタコエビカニ～」
(和田年史・三橋弘宗・山内健生)
 - 第3回 8月12日 「美しい蝶類標本 ～江田コレクションの魅力～」 (橋本佳明・山内健生)
 - 第4回 9月9日 「色んな資料で見る阪神間の風景」 (福本優、赤澤宏樹、藤本真里、大平和弘)
 - 第5回 10月14日 「アンモナイト大集合」 (生野賢司・佐藤裕司)
 - 第6回 11月11日 「モミジをさがせ！」 (高野温子・橋本佳延)
 - 第7回 12月9日 「鳥類標本の世界 ～小林コレクションより～」 (布野隆之)
 - 第8回 2月11日 「コレクションをもっと活用するには？」 (三橋弘宗・福本優)

第3回と第7回は、後日記者発表を行う内容の関連イベントとして実施します。
また、第8回は、「共生のひろば」にて実施します。

ひとはく
収蔵資料
スペシャル企画
標本のミカタ Vol.5

アンモナイト大集合

Orthosphinctes

Polyptychoceras

世界各地で採取されたアンモナイトの化石が勢揃いします。今まさに研究されている種類や、異常巻と呼ばれる変わった形の種類など、普段は見られない標本も使ってアンモナイトの魅力や進化の歴史に迫ります。

※申込み不要。別途観覧料が必要です。

10/14 13:00
(日) 16:30

場所：4階大セミナー室、ひとはくサロン

同時開催します！

【ギャラリートーク】 場所：4階大セミナー室
クイズで知ろう！アンモナイトの秘密
(生野賢司 研究員)

時間：13:00～13:30

知る人ぞ知るアンモナイトの秘密や、様々な標本の見どころを、クイズを交えて解説します。

淡路島で見つかるアンモナイト

(岸本眞五 兵庫古生物研究会 代表)

時間：13:30～14:00

長年にわたり集めてきた標本を紹介しながら、アンモナイト化石の魅力について語ります。

【オープンセミナー】 場所：ひとはくサロンオープンラボ
アンモナイト石けんをつくらう！

(佐藤裕司 研究員)

時間：①13:00 ②13:30 ③14:00 ④14:30

各回先着定員15名 参加費：300円

アンモナイトの型に石けんを流し込み、レプリカを作ります。完成までに約30分かかります。

「標本のミカタ」では・・・

博物館が収蔵する標本をふんだんに使って、自然環境や地球の成り立ちについて、読み解き方や観察のポイントを解説します。普段は、収蔵庫に保管されていたり、ケースの中であって間近で観察することができませんが、この企画では、実際に取りだした標本を顕微鏡などの道具を使ってじっくり解説いたします。テーマと関連したイベントも併せて実施されます。標本に関心のある方は、ぜひお越しください。

次回予告
モミジを
さがせ！
11/11(日)

お問い合わせ

兵庫県立人と自然の博物館（ひとはく）
生涯学習課 Tel.079-559-2002
ホームページ <http://www.hitohaku.jp>